

小児救急は小児科医のボランティア精神で
当直体制の中で対応している。36時間労働
当直はあくまで**副業**、本業は日勤帯



やれどもやれども、多数の軽症患者ばかり
スキル・アップが図れない
患者の身勝手に耐えられない



燃え尽きて逃散

地域小児科センター病院施設基準作成委員会

中核病院

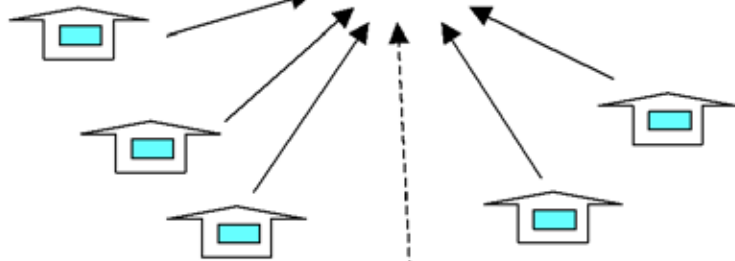
高度専門医療
周産期センター
小児救急科
PICU
救急搬送

入院・救急の集約化
救急・入院医療の広域化
病診連携の強化
身近な医療の継続
女性医師の増加
労働条件への配慮



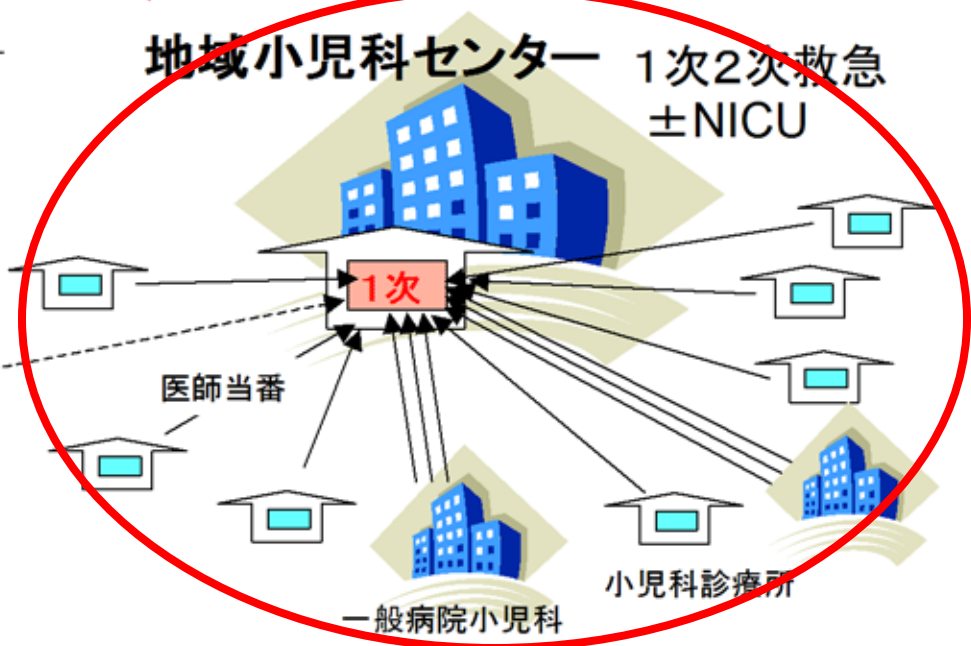
3次救急

1次



小児科診療所

地域小児科センター 1次2次救急
±NICU



医師当番

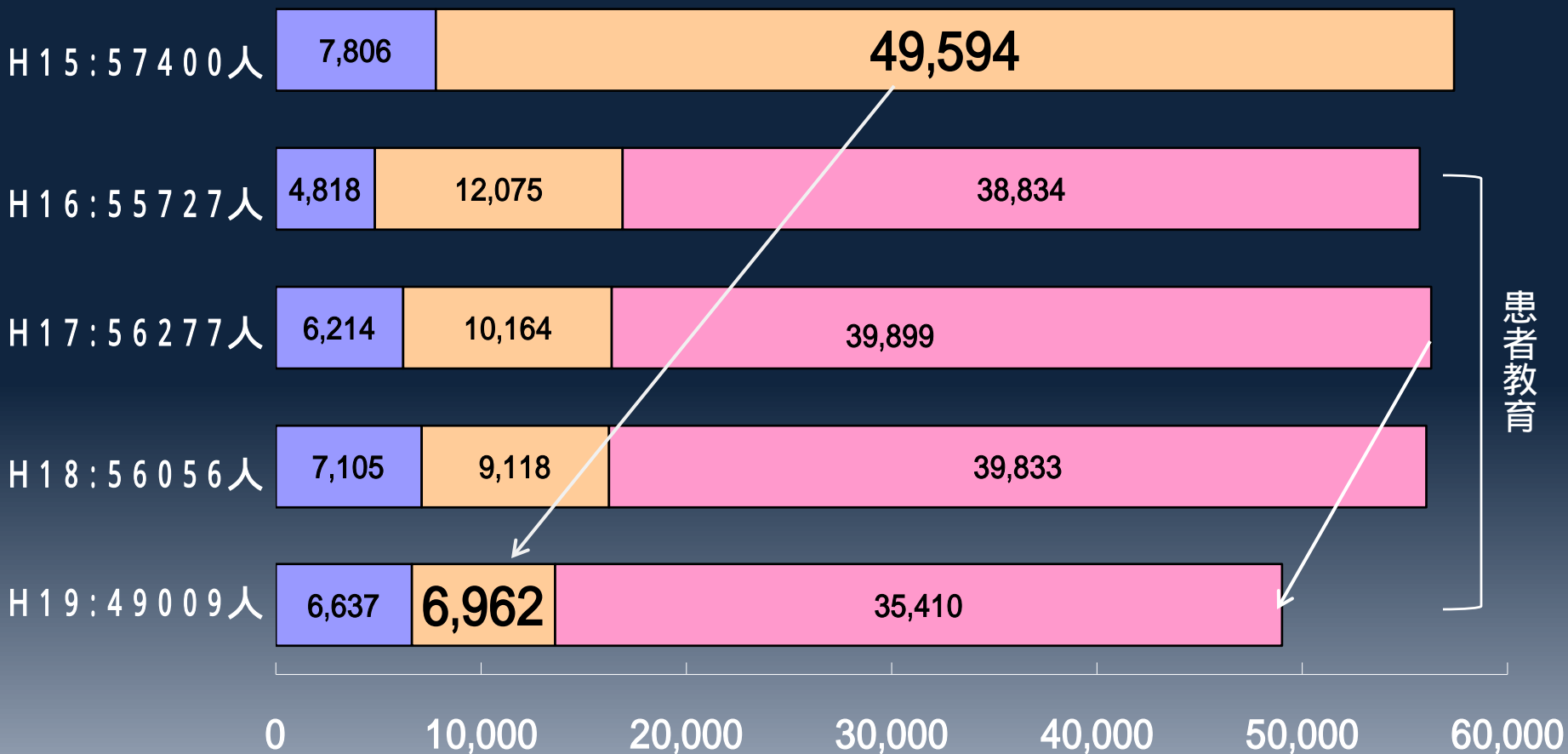
過疎地病院小児科

一般病院小児科

小児科診療所

初期救急：大規模急病センターの出現と変化

豊能医療圏での小児救急患者数の推移



患者教育

- ・病院受診数の減少
- ・患者教育の効果
- ・府下他地域の荒廃

■ 4市の休日急病診療所

■ 市立病院等

■ 豊能広域こども急病センター

箕面市立病院小児科
山本威久先生より提供